

- 006 はじめに
Section 1 更新される文化的アイデンティティ
- 012 人吉藩鼓笛隊の近代史と復元の問題
グローバルゼーションによって生まれ、ローカライゼーションによって生き残った音楽
奥中康人
- 016 再定義される文化的アイデンティティ
ドレスデン・ノイマルクト広場再建をめぐって
飯田皆実
- 036 「境界」という理想郷
シマノフスキのオペラ《ルッジェーロ王》をめぐる論争をてがかりに
重川真紀
- 044 **The Form at which a Composer Aimed**
Vikror Ullmann's Song Cycle *Der Mensch und sein Tag*
Yasushi IEDA
- 052 マックス・ブロートにおける「民族共生」の問題
ナショナリズムと多文化主義
川島隆
- Section 2 ゴ芸術の編成/変成**
- 060 **16世紀のミラノにおける芸術環境**
外国支配と外来の芸術家の流入
大野陽子
- 075 **1958年の吉原治良**
戦後日本美術におけるグローバルゼーション
鈴木慈子
- 085 **ROCIプロジェクトにおける現代美術のグローバル・モデルとその功罪**
池上裕子
- 094 **【香評論文】 Giacomo Agosti, *La nascita della storia dell' arte in Italia Adolfo Venturi dal museo all' università 1880-1940, Venezia 1996.***
大野陽子
- Section 3 表象される〈周縁〉**
- 104 伝統と創造性の狭間で
なぜジューパン *Jewban*・パフォーマーはアイデンティティを表現するのか?
川端美都子
- 114 **マイノリティ文学の創出と言語**
チェコ・スロヴァキアのロマ文学をめぐって
佐々木茂人
- 121 **チェコにおける「ジプシー問題」**
唐澤佑子
- 128 **他者の音楽と暴力**
映画『アバター』と架空の民族性について
齋藤桂
- 136 **東西ヨーロッパにおける「ユダヤ人信仰」の痕跡を辿る**
トラフテンベルク『悪魔とユダヤ人』(1943)とアンスキー「文化の相互影響」
(1923)をめぐって
赤尾光春